

子どもの転落事故防止のために

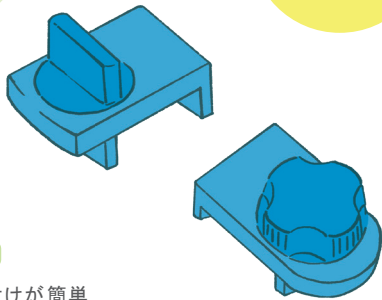
窓 や バランダ出入口 に取り付ける 補助錠の選び方

*6歳未満の
お子さまを対象
とした予防策です

補助錠

A

レール タイプ



メリット

- 取り付けが簡単
- 外した後に跡が残らない
- ねじ式のとまみが子供の力では回せない

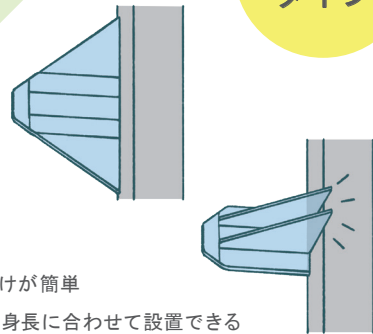
デメリット

- 窓枠の幅によっては、設置できない場合がある
- つまみ式の場合は、つまみを保管する必要がある

補助錠

B

ガラス タイプ



メリット

- 取り付けが簡単
- 自分の身長に合わせて設置できる

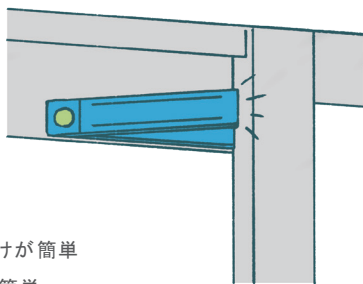
デメリット

- 窓枠の幅によっては、設置できない場合がある
- 取り外す際に、粘着テープの跡が残る可能性がある
- 粘着テープの強度に限界があることと、日当たりの良い場所では、粘着力が弱まる可能性がある

補助錠

C

かまち タイプ



メリット

- 取り付けが簡単
- 操作が簡単

デメリット

- 設置場所が高いため、踏み台が必要になる場合がある
- 取り外す際に、粘着テープの跡が残る可能性がある
- 粘着テープの強度に限界がある



補助錠の 設置場所と 取り付け方

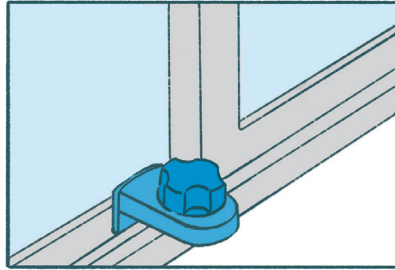
【注意事項】

- 窓サッシの種類や形状(レールの幅や窓の隙間など)によって、取り付けができない補助錠もあります。
- 少し窓が開けられる位置に補助錠を取り付けた場合、窓の開閉時に補助錠が外れたり、破損する恐れがあります。
- 貼り付けタイプは、なるべく子どもの手が届かない場所に設置しましょう。

補助錠

A

レールタイプ



設置場所

- 引き違い窓
- 窓枠下のレール部分

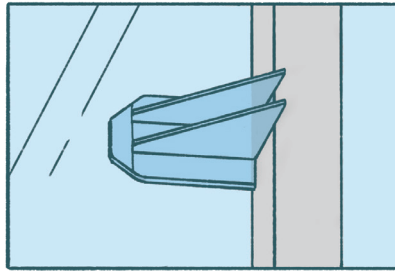
取り付け方

- 外側の窓の横かまちと窓枠下のレールとの間に差し込み、横かまちを押しながら錠を回して固定します
- 上下2箇所に取り付けると安全性が高まります

補助錠

B

ガラスタイプ



設置場所

- 引き違い窓
- 窓と窓の隙間が1cm以上ある場所

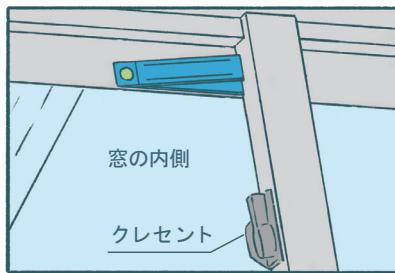
取り付け方

- 1 取り付け面の汚れを十分に取り除く
- 2 粘着テープの剥離紙を剥がし、窓と三角形の底辺が並行になるように取り付ける
- 3 しっかり貼れていることを確認し、24時間ほど放置してから使用します

補助錠

C

かまちタイプ

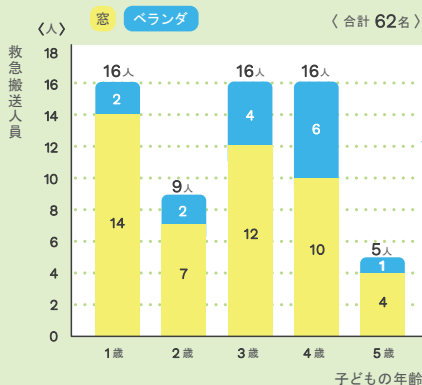


設置場所

- 引き違い窓
- 窓と窓の隙間が4mm以上10mm以下の場所

取り付け方

- 1 窓を閉め、クレセント錠をかける
- 2 取り付け面の汚れを十分に取り除く
- 3 粘着テープの剥離紙を剥がし、軽く貼り付ける
- 4 補助錠が閉じた(平らな)状態で、窓がスムーズに開閉するかを確認する
- 5 粘着テープを押し付けて完成



東京消防庁「救急搬送データ」

東京消防庁管内で発生
平成29年(2017年)から令和3年(2021年)までの累計
出典:東京消防庁「住宅等の窓・ベランダから子どもが墜落する事故に注意」

特に1歳から5歳の子どもの窓やベランダからの転落事故が多く発生しています。今すぐできる対策で子どもの転落事故を防ぎましょう。

